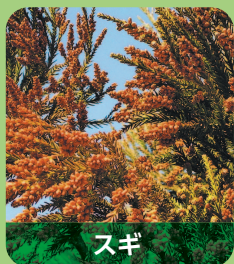


花粉症? スギだけじゃない!

この季節、アレルギーの原因はさまざま。こんなアレルゲンに注意が必用です。

樹木 (花粉)

ハンノキ、シラカンバは、カバノキ科の樹木です。ハンノキは、全国に自生し身近な公園でも見られ、スギより少し早く飛散します。シラカンバは北海道の代表的な花粉症の原因アレルゲンです。リンゴ、モモなどの食物アレルギーを合併する*ことが知られています。



スギ



ヒノキ



PFAS

ハンノキ



PFAS

シラカンバ



PFAS

オオアワガエリ



PFAS

カモガヤ

イネ科植物 (花粉)

カモガヤ、オオアワガエリは、河川敷、空き地、道端に広く自生しています。これらの植物は、樹木と比べて花粉の飛散距離が短いので、近づかないことで回避できます。また、果物や野菜などの食物アレルギーを合併する*ことが知られています。

室内塵

屋内に発生する蛾として、食品に発生するノシメダラメイガ、衣類に発生する衣蛾などがいます。主に蛾の翅についている粉(鱗粉)がアレルギーの原因となります。



ガ



ゴキブリ

夜行性で気温が25度以上になると活発化します。死骸や糞(フン)がアレルギーの原因となります。

高温多湿を好み、梅雨から夏にかけて繁殖し、秋にはアレルギーの原因となる死骸とフンが最も多くなります。主に寝具、じゅうたんなどに生息します。個体は0.1-0.5mmと小さく目に見えません。



ダニ



ネコ



イヌ

アレルギーの原因は主にフケです。飼っていないでも公共の場から衣類などに付着して持ち込まれることがあります。

アレルゲンカレンダー

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
樹木		ハンノキ スギ	スギ ヒノキ	ヒノキ シラカンバ	シラカンバ							
イネ科					カモガヤ・ハルガヤ・オオアワガエリなど							
室内塵			ダニ・イヌ・ネコ・ガ・ゴキブリ など									

室内塵 花粉症時期は目鼻が敏感になりますのでこれら通年性アレルゲンにも注意が必要です。

PFAS *PFAS (花粉-食物アレルギー症候群)

PFASは、花粉症に合併する食物アレルギーです。花粉に感作した人が特定の食品(果物・野菜等)を食べた数分後に、唇・口・喉などにイガイガ感や痒み・腫れなどアレルギー症状(OAS: 口腔アレルギー症候群とも呼ばれる)を引き起こします。原因は、花粉症の原因物質と似たタンパク質が果物等の食物に含まれているからと言われています。

対策ポイント

- PFASの原因と診断された食物は避ける。
- 原因となる花粉が飛散する時期に発症・悪化するため、花粉飛散時期は花粉対策も実施する。

「PFAS (花粉-食物アレルギー症候群) についてもっと知りたい!

PFASアレルギー

検索

